

吉田川流域治水シンポジウムを開催 ～地域を“みず”から守る。～

■新型コロナウイルス感染拡大などの影響もあり、当初開催(8月28日)を延期としていましたが、今般下記の実施要領にてあらためて開催する事と致しました。

- 宮城県 吉田川流域では、これまでもたびたび水害に襲われており、様々な治水対策に取り組んできました。近年でも、令和元年台風19号による大規模な氾濫被害を契機に、国、県、市町が連携して氾濫被害の最小化に向けて吉田川・新たな「水害に強いまちづくり」プロジェクトに取り組んでいます。
- 更に気候変動の影響や社会状況の変化を踏まえ、水害リスクの増大から地域を守るため、これまでの取り組みに加え、河川の流域のあらゆる関係者が協働して水害対策を実施する「流域治水」を進めていくことが重要となっています。
- そこで、吉田川流域を水害から守り、地域を発展させるために必要な「流域治水」について、住民や専門家の皆様と議論する「吉田川流域治水シンポジウム」を開催いたします。

1. 開催日時及び場所

令和3年11月28日(日) 開場13:00 開演13:30～
鎌田記念ホール(ポルパル) サブアリーナ(多目的ホール)
(宮城県大崎市鹿島台木間塚字福芦335番地1)

2. 内容(プログラム)

第1部 基調講演「変化を乗り越え、誇りある流域づくり」
第2部 情報提供「吉田川の水害と治水の取り組み」
パネルディスカッション「流域治水で地域が発展していくために」

3. 定員等

参加無料で先着150名(要事前申込)
※当初開催時の参加者を優先にして定員の調整をさせていただきます。
※新型コロナウイルス感染症対策のため座席数を制限しております。

4. 主催 : 吉田川流域治水シンポジウム実行委員会

後援 : 一般社団法人東北地域づくり協会

5. 報道取材について

報道機関関係者で取材を希望される場合は、11月15日(月)15:00迄に「別紙登録用紙」にご記入のうえ、FAXにてご連絡いただきますようお願いいたします。

なお、取材配置にあたっての待機場所の指定や入場人数の調整などを
お願いする場合がありますのであらかじめご了承下さい。

(発表記者会)

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問い合わせ先



国土交通省 北上川下流河川事務所
宮城県石巻市蛇田字新下沼80 電話 : 0225-95-0194(代表)

たかだ ひろほ

技術副所長 高田 浩穂 (内線205)

すずき ゆうじ

防災情報課 建設専門官 鈴木 雄次 (内線505)



宮城県大崎市建設部 都市計画課
宮城県大崎市古川七日町1番1号 電話 : 0229-23-8069

いとう まさひろ

技術補佐 伊藤 政浩

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- ・咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮ください。
- ・取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
- ・入口付近にアルコール消毒液を設置します。(ご利用ください。)
- ・取材中でのマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願い致します。
- ・咳、くしゃみなどの症状がある方は必ずマスクを着用ください。
- ・うがい、手洗いの励行をお願いいたします。
- ・参加者への感染防止を考慮し事務局スタッフはマスク着用等でご案内させていただきます。

来所された方には当日、会場での検温等をお願い致します。

吉田川流域治水シンポジウム(11月28日開催)取材申込書

返信先：北上川下流河川事務所 防災情報課 宛て
FAX番号： 0225-94-9857

ふりがな 必須	
お名前 必須	
ご所属(会社名) 必須	
ご連絡先(TEL/FAX) 必須	TEL FAX
ご連絡先(メールアドレス)	メールアドレス1 _____ メールアドレス2 _____
連絡事項欄	

送り状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXしてください。なお、お手数ではございますが、FAX送信後、受信確認のため、下記の【受信確認先】までご連絡ください。

【受信確認先】

北上川下流河川事務所 防災情報課

TEL：0225-94-9854(直通)

吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」がスタート!!
地域を「みずく」から守る。



昭和61年 8.5豪雨 堤防破壊地点



YOUTUBE ライブ配信します!

https://youtube.com/channel/UCp2fljpH_fLZZ5ML4Qaj9BQ

吉田川 流域治水 シンポジウム

募集

先着 **150名** (参加無料)

《要事前申込》 ※新型コロナウイルス対策のため座席数の50%に制限しています。
※前回お申し込みをされた方は、申し込み不要です。

開催日時

令和3年

11月28日 (日)

■開場 13:00

■開演 13:30~

会場

〒989-4102 宮城県大崎市鹿島台木間塚字福芦335番地1
TEL.0229-56-6311

鎌田記念ホール サブアリーナ
(多目的ホール)
(ポルパル)

プログラム

第1部

●基調講演 「変化を乗り越え、誇りある流域づくり」

講師 **小池 俊雄氏** (社会資本整備審議会河川分科会 分科会長)
(国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長)

第2部

●情報提供 「吉田川の水害と治水の取り組み」

解説 **石田 和也** (国土交通省 北上川下流河川事務所長)

●パネルディスカッション

「流域治水で地域が発展していくために」

コーディネーター **塚原 浩一氏** (公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事)

パネリスト **田中 仁氏** (東北大学大学院 工学研究科 教授)
-2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団 団長-

佐藤 翔輔氏 (東北大学 災害科学国際研究所 准教授)

千葉 榮氏 (鶴田川沿岸土地改良区 理事長)

三浦 たつ子氏 (大崎市鹿島台在住)

コメンテーター **小池 俊雄氏** (社会資本整備審議会河川分科会 分科会長)



お問い合わせ



大崎市 都市計画課 (事務局)

〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号

電話: 0229-23-8069 FAX: 0229-22-9454

Eメール: toshi@city.osaki.miyagi.jp

主催

吉田川流域治水シンポジウム実行委員会

- 鳴瀬川等流域治水協議会 ●江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会
- 「大崎市水害に強いまちづくり」共同研究会(大崎市・一般社団法人東北地域づくり協会)
- 国土交通省 北上川下流河川事務所

後援

一般社団法人東北地域づくり協会

吉田川 流域治水 シンポジウム

開催趣旨

吉田川流域では、これまでたびたび水害に襲われており、様々な治水対策に取り組んできました。近年でも、令和元年台風19号による大規模な氾濫被害を契機に、国、県、市町が連携して氾濫被害の最小化に向けて吉田川・新たな「水害に強いまちづくり」プロジェクトに取り組んでいるところです。

一方、気候変動の影響や社会状況の変化を踏まえると、水害リスクはますます増大していくものと考えられます。増大する水害リスクから地域を守っていくために、これまでの取り組みに加え、河川の流域のあらゆる関係者が協働して、河川だけでなく、住民が暮らす流域の土地や建物、避難体制等に工夫をこらして水害対策を実施する「流域治水」を進めていくことが重要になります。

そこで、吉田川流域を水害から守り、地域を発展させるために必要な流域治水について、住民や専門家の皆様と議論する「吉田川流域治水シンポジウム」を開催いたします。

吉田川・新たな「水害に強いまちづくりプロジェクト」がスタート!! 地域を“みず”から守る。

TIME	プログラム	プロフィール
13:30	開会	
13:30	挨拶 ◆石田 和也 (吉田川流域治水シンポジウム実行委員会 実行委員長)	
13:40	第1部 基調講演「変化を乗り越え、誇りある流域づくり」 講師 小池 俊雄氏 (社会資本整備審議会河川分科会 分科会長) (国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長)	 講師 小池 俊雄氏 ●社会資本整備審議会河川分科会 分科会長 ●国立研究開発法人土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター センター長 1985年に東京大学大学院工学系研究科博士課程を修了。その後、長岡技術科学大学教授、東京大学教授を経て同名誉教授。現在は国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター長。社会資本整備審議会河川分科会分科会長、日本学術会議会員などを兼任。
14:40	休憩	
14:55	第2部 情報提供「吉田川の水害と治水の取り組み」 解説 石田 和也 (国土交通省 北上川下流河川事務所長)	
15:10	パネルディスカッション 「流域治水で地域が発展していくために」 コーディネーター 塚原 浩一氏 (公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事) パネリスト 田中 仁氏 (東北大学大学院 工学研究科 教授) (2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団 団長) 佐藤 翔輔氏 (東北大学 災害科学国際研究所 准教授) 千葉 榮氏 (鶴田川沿岸土地改良区 理事長) 三浦 たつ子氏 (大崎市鹿島台在住) コメンテーター 小池 俊雄氏 (社会資本整備審議会河川分科会 分科会長)	 コーディネーター 塚原 浩一氏 ●公益財団法人 リバーフロント研究所 代表理事 1985年東京大学大学院を卒業後、建設省に入省。東北地方整備局をはじめとして、関東地方整備局、中国地方整備局、本省勤務を経て、2018年に国土交通省水管理・国土保全局長で退官。現在は(公財)リバーフロント研究所代表理事として活躍。
16:40	閉会挨拶 ◆伊藤 康志 (江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会 会長(大崎市長))	



パネリスト 田中 仁氏
●東北大学大学院 工学研究科 教授
●2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団 団長
1984年に東北大学大学院工学研究科博士後期課程を修了。その後、宇都宮大学助手、アジア工科大学(タイ・バンコク)水資源工学科助教授、デンマーク工科大学水理工学研究所 客員研究員を経て、現在東北大学大学院工学研究科土木工学専攻教授として活躍。



パネリスト 佐藤 翔輔氏
●東北大学 災害科学国際研究所 准教授
2011年京都大学大学院情報学研究所博士後期課程を修了。東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター・助教、東北大学災害科学国際研究所・助教を経て、2017年11月より現職の東北大学災害科学国際研究所・准教授に就任。



パネリスト 千葉 榮氏
●鶴田川沿岸土地改良区 理事長
平成16年9月に鶴田川沿岸土地改良区理事就任。平成20年9月からは理事長に就任し、現在に至る。平成27年12月設立した吉田川流域土地改良事業連絡協議会会長も兼務。土地改良事業のみならず、地域資源 保管理等、環境を守りつつ活気のある地域づくりを目指した諸活動に尽力。



パネリスト 三浦 たつ子氏
●大崎市鹿島台在住
現在、鹿島台で農業を営む傍ら、農業法人ファーム上志田 監事を務められている。昭和61年8月洪水と令和元年10月洪水を経験。

事前参加申込書

★必要事項をご記入の上、①郵便(はがき・封書)、②電話、③FAX、④Eメールにてお申し込みください。

氏名		所属	
住所		連絡先	TEL

《申込先》 ①郵送先 〒989-6188 宮城県大崎市古川七日町1番1号「大崎市都市計画課」宛
②TEL.0229-23-8069 ③FAX.0229-22-9454 ④Eメール toshi@city.osaki.miyagi.jp

申込締切/11月15日(月)